

非常持ち出し品

避難するときに、まず最初に、持ち出すものです。

- ・リュックサックなどに入れて保管
- ・必要なものを動きやすい量だけ準備

非常食

- 水(1人1日あたり3ℓ)
- 食料(最低1食分の携帯食)

衣類

- ヘルメット
 - 下着・靴下
 - タオル
 - コンタクトレンズ
 - 雨具
 - メガネ
 - 生理用品
 - おむつ
- (保存液も)

防災用品

- 携帯ラジオ
 - 懐中電灯
 - 乾電池
 - 携帯電話の充電器
 - ポリ袋
 - レジャーシート
 - ロープ
- (1人に1つ)

救急医療品

- 常備薬(病院から処方された薬)
- 簡単な救急セット
- ウェットティッシュ

貴重品

- 現金
- 健康保険証(コピー可)
- 通帳・印鑑など

新型コロナウイルス感染対策

- マスク
- 消毒液
- 体温計
- タオル
- スリッパ
- 筆記用具



忘れないでね。

備蓄品

ライフラインが復旧するまでや、「在宅避難」の数日間を、生き延びるためのものです。

- ・ダンボール箱などにまとめて保管
- ・1人3日分を目安に準備

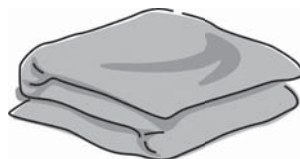
食料など

- 水(1人9ℓ程度)
- 食料(缶詰やレトルト食品)
- 缶切り
- 紙皿・割り箸・ラップ
- 卓上コンロ・ガスボンベ



衣類など

- 下着類
- 衣類
- 防寒着
- 毛布または寝袋
- 使い捨てカイロや解熱シップ



日用品

- ライター・ろうそく
- 乾電池
- トイレットペーパー



乳幼児のいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、おむつ、離乳食、スプーン、おんぶひもなど



妊婦のいる家庭

脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、新生児用品、母子手帳など



要介護者のいる家庭

おむつ、ティッシュ、補助具の予備、常備薬、障害者手帳など



あつてよかった! 無くて困った...

避難所での感染予防対策について

市が開設する避難所では、次の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施します。また、避難者の世帯ごとの間隔はできるだけ2m(最低1m)を取れるよう、状況に応じて近くの避難場所を追加開設するなど、感染防止対策に取り組みます。

なお、地域で自主開設いただく自主避難所でも、市が開設する避難所での対応を参考に、感染防止対策の実施をお願いします。

- 検温、感染症疑いチェック表による聞き取り
- 手洗い、咳エチケットなどの徹底(避難者・職員など)
 - ▶ 検温など避難者の健康チェック
 - ▶ 受付やトイレなどでの手洗い、手指消毒
 - ▶ マスク着用など咳エチケット
- 定期的に室内の十分な換気
- 避難スペースの確保(避難者1人当たりの居住面積3.5㎡以上)
- 共有部分(ドアノブなど)の定期的な清掃・消毒
- 避難者名簿の作成(感染経路の把握に備えて)
- 発熱、咳などの症状が出た場合は、速やかに職員に申し出てもらい、対策本部や保健所と連携して対応(専用スペースやトイレの確保、間仕切りなどの対応を検討)



コロナ対策やで。

自然災害で実際に避難した人が答えた非常持ち出し品、備蓄品の例

- ・モバイルバッテリー
- ・電池
- ・ランタン
- ・ウォータータンク
- ・液体歯磨き、歯磨きシート
- ・身体拭き用シート
- ・無水シャンプー
- ・非常用トイレ
- ・乳幼児のおもちゃ、おやつ



<出展：一般社団法人ダイバーシティ研究所「2018年自然災害被災者に聞いた防災についてのアンケート」>

ペットと一緒に避難する場合に備えておくこと

- ペットは、避難所の屋内に持ち込めません。ケージに入れて、屋外の軒下などでの避難に、ご協力をお願いします。
 - ペットが避難するためのケージを用意し、ペットを慣らしておきましょう。また、ペットフードなど、ペットのための非常持ち出し品を準備しておきましょう。
 - ペットが行方不明にならないよう、首輪や迷子札で所有者が分かるようにしておきましょう。
- ※各避難所によって扱いが異なる場合がありますので、事前にご確認ください。